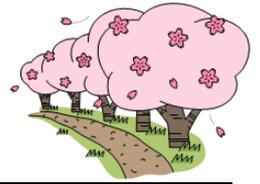




(No.27) 丸岡高等学校 定時制



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	本当の「頭のよさ」ってなんだろう？	齋藤 孝	誠文堂新光社	1,430 円
推薦図書の説明				
学校にはなんのために行くの？本はどう読めばいいの？周りの人とはどうつきあえばいい？生きていくってどういうこと？この本では、さまざまな身近なテーマから、一生使えるものの考え方を身につけて、本当の「頭のよさ」を磨いていく方法を伝授しています。				

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	明日の朝、観覧車で (『100km!』改題)	片川 優子	講談社文庫	550 円
推薦図書の説明				
高校生の主人公「みちる」が、100kmを歩き切る大会に参加。ただただ歩き続ける100km、出会う人に励まされたり、家族のことを考え振り返ったり。主人公が100km歩き切った後、本を読み終えた後には、読んでいた自分も100kmを歩いた気分になれてしまうし、さわやかな気分になれる本でした。				

	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【3】	塩狩峠	三浦 綾子	新潮文庫	781 円

推薦図書の説明

明治の末に実際に起こったお話です。北海道旭川の塩狩峠というところで、突然列車から離れた客車が暴走し始めました。このままでは脱線して多くの乗客に被害が出ます。ひとりの若い鉄道職員が自分の体を前に投げ出して列車を止め、自分の命を犠牲にして大勢の乗客の命を救いました。この本には、その青年の愛と信じる心に貫かれた生涯が描かれています。命の大切さや尊さ、人として持つべき心などを教えてくれる一冊です。

	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【4】	「作家」と「魔女」の集まっちゃった思い出	角野 栄子	KADOKAWA	1,540 円

推薦図書の説明

角野栄子さんは「魔女の宅急便」の生みの親です。この本には、戦争の記憶から最近までの色々な思い出のエッセイです。特に「不幸と思えるものにもきっと何かの贈り物がある」と思えるようになったというような心が温まる本です。



	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【5】	世界がもし100人の村だったら	池田 香代子	マガジンハウス	1,320円

推薦図書の説明

2015年国連サミットの「SDGs 持続可能な開発目標」にある「世界を変えるための17の目標」の1「貧困をなくそう」について意識を持つ。解決すべき貧富の差、国家間の格差などを考える。